



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年7月31日

上場会社名 日進工具株式会社

上場取引所 東

コード番号 6157 URL <https://www.ns-tool.com>

代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）後藤 弘治

問合せ先責任者 （役職名）取締役経営企画室長兼財務経理部長 （氏名）戸田 覚 TEL 03-6423-1135

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	2,878	27.0	721	84.6	741	85.6	516	97.1
2026年3月期第1四半期	2,266	△0.5	390	15.5	399	17.7	262	18.8

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 523百万円（121.5％） 2026年3月期第1四半期 236百万円（△5.0％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	22.01	21.83
2026年3月期第1四半期	10.52	10.44

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2027年3月期第1四半期	19,528	18,022	91.3	759.21
2026年3月期	19,595	17,851	90.1	751.94

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 17,827百万円 2026年3月期 17,657百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		15.00	—	15.00	30.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正につきましては、本日公表いたしました「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する四半期純利益		1株当たり 四半期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	5,420	18.1	990	30.0	1,010	28.9	650	19.5	27.65
通期	10,570	11.3	1,170	△40.3	1,180	△41.3	780	△45.9	33.16

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

業績予想の修正につきましては、本日公表いたしました「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料 7 ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	25,035,034株	2026年3月期	25,035,034株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	1,552,963株	2026年3月期	1,552,963株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	23,482,071株	2026年3月期1Q	24,918,120株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、中東情勢の緊迫化により、石油製品への影響が懸念されたものの、旺盛なAI・半導体関連需要に牽引され、緩やかな回復基調が継続しました。

当社グループ製品の主要需要先の状況といたしましては、国内では、データセンター向けを中心としたAI関連需要の拡大を受け、半導体や電子部品関連が引き続き好調に推移しました。一方、自動車関連においては、EV向け投資の見直しに加え、中東情勢に起因する石油製品の供給不安や価格高騰などが重しとなり、やや低調に推移しました。海外では、中華圏で自動車向けを含む光学・センサー関連の受注が好調に推移したことに加え、超硬素材の需給逼迫懸念を背景とした製品在庫積み増しの動きが一部でみられました。

このような環境の中、当社グループでは、大阪と名古屋で開催された「INTERMOLD」をはじめとした国内外の展示会に出展し、各地域に合わせた製品PRや加工提案を行いました。

製品面では、自動旋盤用ステンレス加工用3枚刃スクエアエンドミル「MSUS340S」、SUS・Ti用高能率ニック付きスクエアエンドミル「MSUS440N」、アルミ用高能率ニック付きスクエアエンドミル3枚刃3倍刃長「AL3D-345N」を発売し、今期も積極的な新製品投入を継続しています。

生産面では、売上増加に伴う増産による量産効果に加え、当社グループの小集団改善活動である「オレンジFC活動」を中心に、高精度、高品質を維持しながら効率的な生産体制を構築することによりコスト削減を実現しました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,878百万円（前年同期比27.0%増）、営業利益は721百万円（同84.6%増）、経常利益は741百万円（同85.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は516百万円（同97.1%増）となりました。

製品区分別の売上高では、「エンドミル（6mm以下）」が2,314百万円（前年同期比28.8%増）、「エンドミル（6mm超）」が241百万円（同30.7%増）、「エンドミル（その他）」が108百万円（同8.6%増）、「その他」が213百万円（同15.8%増）となりました。

（注）報告セグメントが1つでありますので、製品区分別に記載しております。なお「その他」の事業セグメントは、製品区分別の「その他」に含めております。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産は66百万円減少し19,528百万円となりました。これは主に、減価償却による固定資産の減少等によるものであります。

また、負債は前連結会計年度末と比較して237百万円減少し、1,506百万円となりました。これは主に、未払法人税等及び賞与引当金の減少等によるものであります。

純資産は前連結会計年度末と比較して、利益剰余金の増加等により170百万円増加し18,022百万円となりました。なお、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は91.3%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の業績予想及び配当予想につきましては、2026年5月14日に公表いたしました「2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」において未定としておりましたが、業績予想及び配当予想を公表いたしました。

詳細は、本日（2026年7月31日）公表いたしました「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,567,559	9,572,392
受取手形及び売掛金	1,418,409	1,382,259
商品及び製品	1,470,492	1,359,858
仕掛品	278,377	282,120
原材料及び貯蔵品	601,371	680,128
その他	123,175	223,548
流動資産合計	13,459,384	13,500,308
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,223,000	2,186,926
機械装置及び運搬具（純額）	1,147,890	1,154,608
土地	885,086	885,086
建設仮勘定	368,094	291,490
その他（純額）	141,373	142,891
有形固定資産合計	4,765,444	4,661,004
無形固定資産	28,150	26,079
投資その他の資産		
投資有価証券	40,230	38,010
保険積立金	637,635	639,633
繰延税金資産	505,081	506,008
その他	159,144	157,384
投資その他の資産合計	1,342,092	1,341,036
固定資産合計	6,135,688	6,028,119
資産合計	19,595,072	19,528,428

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	237,616	321,789
未払法人税等	347,295	228,547
賞与引当金	328,596	146,184
役員賞与引当金	98,344	29,080
その他	511,326	559,739
流動負債合計	1,523,177	1,285,340
固定負債		
長期未払金	219,552	219,552
退職給付に係る負債	792	1,104
その他	350	350
固定負債合計	220,694	221,006
負債合計	1,743,872	1,506,347
純資産の部		
株主資本		
資本金	455,330	455,330
資本剰余金	418,223	418,223
利益剰余金	18,013,315	18,177,895
自己株式	△1,366,614	△1,366,614
株主資本合計	17,520,254	17,684,835
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,986	11,453
為替換算調整勘定	123,773	131,606
その他の包括利益累計額合計	136,760	143,060
新株予約権	194,184	194,184
純資産合計	17,851,200	18,022,080
負債純資産合計	19,595,072	19,528,428

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	2,266,127	2,878,183
売上原価	1,042,330	1,304,926
売上総利益	1,223,796	1,573,257
販売費及び一般管理費	833,037	851,901
営業利益	390,759	721,355
営業外収益		
受取利息	166	262
受取配当金	483	363
受取手数料	237	313
作業くず売却益	3,688	18,052
為替差益	2,745	868
その他	2,123	1,541
営業外収益合計	9,443	21,402
営業外費用		
賃貸費用	708	1,281
営業外費用合計	708	1,281
経常利益	399,494	741,476
特別利益		
固定資産売却益	36	1,280
特別利益合計	36	1,280
特別損失		
固定資産売却損	95	—
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	95	—
税金等調整前四半期純利益	399,435	742,756
法人税等	137,213	225,945
四半期純利益	262,221	516,811
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	262,221	516,811

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	262,221	516,811
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,359	△1,533
為替換算調整勘定	△27,397	7,833
その他の包括利益合計	△26,037	6,300
四半期包括利益	236,184	523,111
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	236,184	523,111
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

税金費用については、当社及び一部の子会社について、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自2025年4月1日至2025年6月30日）及び当第1四半期連結累計期間（自2026年4月1日至2026年6月30日）

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループでは、製品の製造様式、製品の市場及び顧客を系統的に区分した製品部門別に戦略を構築し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは製品部門別のセグメントから構成されており、「エンドミル関連」と「その他」の2つを事業セグメントとしております。「エンドミル関連」は当社グループが営む主力の事業であり、超硬小径エンドミルを中心とした切削工具の製造販売にかかる事業であります。また、「その他」は工具ケースを中心としたプラスチック成形品の製造販売にかかる事業であります。なお、「エンドミル関連」は、製品のサイズ等により、エンドミル（6mm以下）、エンドミル（6mm超）、エンドミル（その他）に区分しております。

なお、「その他」の事業セグメントの売上高、利益又は損失の額及び資産の金額がいずれもすべての事業セグメントの合計額の10%未満であるため、報告セグメントを1つとしております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	145,875千円	135,410千円